

Recherche 000021 クラシカルケープ仕様書

布帛用

パターンパーツ数 15

～付属品～

接着芯

留め具

サイズ		S(70~80)		M(90~100)		L(110~120)	
		ショート	ロング	ショート	ロング	ショート	ロング
着丈(CB)		16.5	24	18.5	27.5	21.5	31
裾幅(平置き)		41.5	62	46	68	53	76.5
表地用尺	90巾	37	59	48	67	55	107
	110巾	24	59	33	67	55	74
	衿	+10 cm		+10 cm		+10 cm	
	フード	+73 cm		+74 cm		+75 cm	
	バブーシュカ	+96 cm		+98 cm		+100 cm	
裏地用尺	90巾	24	32	26	42	32	56

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権は Recherche が所有しています。  
いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転用・複写・流用及び転  
売はご遠慮ください。

■ 用語

CF(センターフロント).....前中心

CB(センターバック).....後中心

SL(ショルダーライン).....肩線

AH(アームホール).....袖ぐり

SNP(ショルダーネックポイント).....肩線の衿側

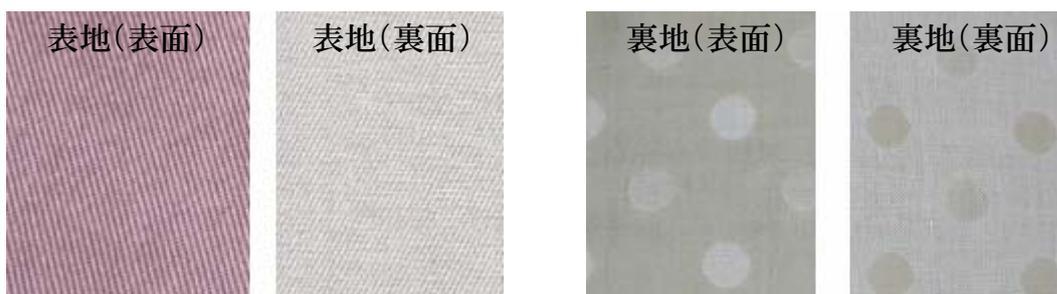
空ロック.....布端処理等に用いる、縫い合わせをしないロック

コバステッチ.....1~2 mmの端ミシン

■ 裁断前に必ず地直しを行ってください。

パターンにはステッチの巾等の指示が書いてありますので、本仕様書と共に確認しながら作業を進めてください。

～画像サンプル使用生地～



----- 作り方 -----

裁断

地の目線を確認し、生地の方に注意しながら裁断します。

※衿の裁断については下の「接着芯を貼ります」を参考にしてください。

ノッチ(合印)を入れます

裁断時、わ になった部分にもノッチを入れます。(FC、BC、衿)

「衿付け止まり」の合印には切り込みを入れず、チャコペン等でしるしを付けます。

※ノッチとは、縫い代に 0.3 cmほどの切り込みを入れることです。

※ノッチを深く入れすぎるとほつれやすくなりますので注意します。

※各所縫い合わせの時はこのノッチどうしを合わせます。

### 接着芯を貼ります

「上襟の裏側の全面」に接着芯を貼ります。(※パターンに指示あり)

※ 接着芯を貼ると生地が縮むので、最初に生地を大きめに粗裁ちしてから接着芯を貼り、その後パターンに合わせ裁断します。

### 身頃～表地～

「前身頃(表地)」と「後身頃(表地)」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫います。

縫い代に切り込みを入れ(カーブの急なところは多めに)縫い代をアイロンで割ります。



### 身頃～裏地～

「前身頃(裏地)」と「前見返し(表地)」を中表に重ね、出来上がり線より3mm外側を直線ミシンで縫います。(※きせをかけます)



※ 水色チャコペンのラインが出来上がり線です。

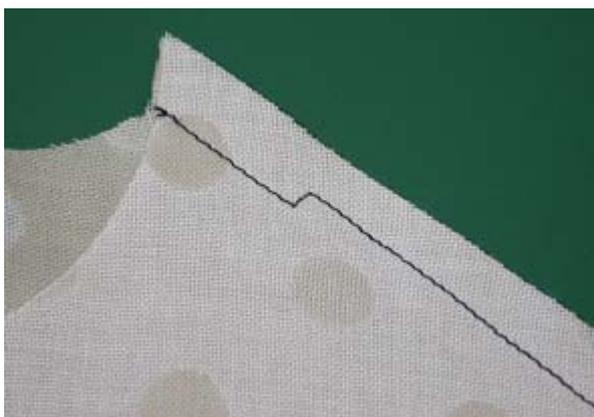
※ 出来上がり線より3mm縫い代側を縫います。  
(黒ミシン糸)



※拡大

縫い後、**出来上がり線**でアイロンをかけます。  
縫い代は**身頃側**に倒します。

「前身頃(裏地)」と「後身頃(裏地)」を**中表**に重ね、直線ミシンで縫います。  
(※下記の様にきせをかけます。)



～カーブのきせのかけ方～

縫い始めの**2～3 cm**と縫い終わりの**2～3 cm**は**出来上がり線**を縫います。

その他の部分は**出来上がり線より3 mm外側**を縫います。

(※縫い線は**コの字**になります。)



縫い後、出来上がり線でアイロンをかけます。  
3mm外側を縫った部分にきせがかかります。  
※ 縫い代は2枚共、後身頃側に倒します。

## 衿

～衿なしの場合は P8 へ～

### ■ 丸衿 ■



「上衿」と「下衿」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫います。



衿先のカーブの部分の縫い代を少し切り落とします。



縫い代に切り込みを入れます。  
※ カーブの急なところは多めに入れます。

表に反しアイロンをかけ、コバステッチをかけます。

～P8 へ～

### ■ステンカラー■



「上衿」と「下衿」を**中表**に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫います。



衿先を左画像の様に切り落とします。

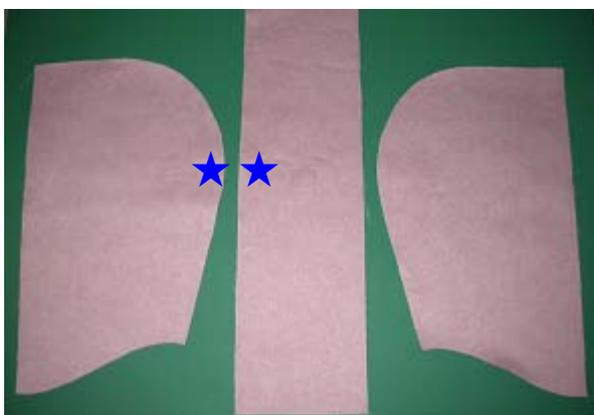
カーブの部分の縫い代に切り込みを入れます。

※ 縫い目を切らないように注意します。

表に反しアイロンをかけ、コバステッチをかけます。

~P8へ~

### ■フード■



「フードのカーブ部分」と「フード中央」を**中表**に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫います。

(★印の部分同士を合わせます。)

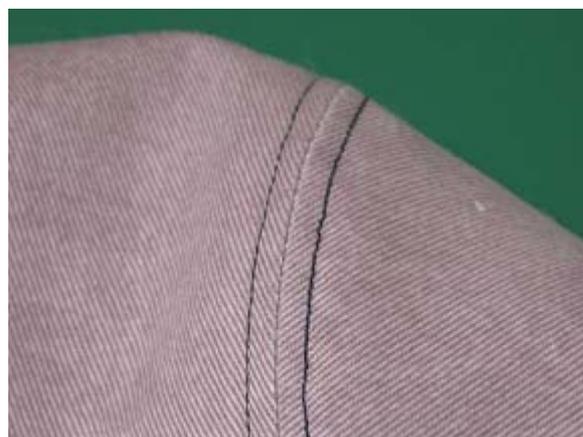
※CB のノッチは画像下側(衿付け側)にします。



同様に同じものをもう一枚作ります。  
縫い代に切り込みを入れます。(カーブ  
の急なところは多めに)

縫い代をアイロンで割ります。

縫い合わせたミシン目の両脇にステッチを入れます。



2枚のフードを中表に重ね、出来上がり線(★印)を直線ミシンで縫い合わせます。





表に反しアイロンをかけ、コバステッチをかけます。

衿付け～仕上げ ※衿なしの場合は、衿を挟む工程を省きます。



「身頃の表地」の上に「衿」を重ねます。  
※ 上衿が上になるように置きます。



その上に「身頃の裏地」を重ねます。  
※ 「身頃の表地」と「身頃の裏地」が中表になるようにします。



各所ノッチを確認しながら身頃の外周を出来上がり線で縫います。



※ 「衿付け止まり」に「衿」を合わせます。

※ 前見返のきせを伸ばさないよう注意します。

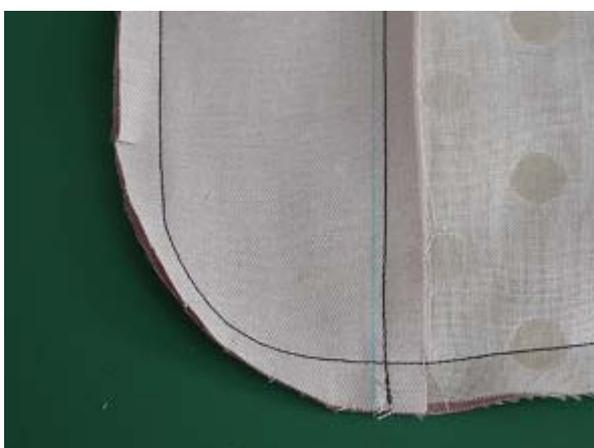


※ 裾の中央 10~15 cmは縫い合わせず、反し口にします。(生地の厚みによって反し口の巾を加減してください。)





前あきの角を左画像の様に切り落とします。



丸裾の場合は、前あきのカーブ部分の縫い代を左画像の様に切り落とします。  
(※生地によっては切り落としすぎるとほつれやすくなりますので加減してください。)

丸裾でない場合は、上画像の様に角を切り落とします。

外周の縫い代部分に切り込みを入れます。

※ カーブの急なところは多めに入れます。

※ 直線部分には入れません。



反し口から身頃を表に反します。

目打ちで角を調べ、アイロンをかけます。

反し口の部分も出来上がり線にアイロンで折ります。



※ 裏地は表地より1~2mm控えてアイロンをかけます。



ステッチをかけます。



### 留め具

ボタンホール・ボタンやスナップ等留め具を付けます。

----- 完成 -----